

やけのしょうがっこうこうちょうしつ
焼野小学校校長室だより



かた はっこうにん
かなら みや
わき けい
いち

わた
宮脇 敬市

平成27年9月28日

輝け！



かがやけのっこ

第 5 号

焼野っこ いいね

や さしく
け んこうて
の びのびと

聴く

ここのことば 子どもを伸ばす言葉かけ！

なが なつやす お がっき はじ
長い夏休みも終わり2学期が始まりました。

すず なに きせつ せいかつ
涼しくなって何をするにもよい季節です。生活
のリズムを整えて、学習や運動にどんどんチ
ャレンジしてほしいです。

がっき おお きょうじ うんどうかい
2学期の大きな行事である運動会には、どの
がくねん だんたいえんぎ せんせいたち れんしゅう
学年も団体演技があります。先生達もその練習
のため夏から準備を進めてきました。全員が
ちから えんぎ からだ
力をあわせて演技するためには、身体だけで
こころ せいちょう みちび ひつよう
なく心の成長もしっかりと導く必要があります。

ことば たいせつ こ
そのための言葉かけがとても大切で、子ども
のを伸ばすためには、子ども自身が考えるよう
うなが ひつよう し じ ことば
に促すことが必要です。指示された言葉で、
受け身の行動になるか、主体的な行動となるかが
おお わ め い なに かんが
大きな分かれ目です。言われたことだけ何も考
えずにするのと、どうしたらうまくできるかを
かんが くふう おお さ あらわ
考え工夫するのでは大きな差が現れます。

ひいてき ことば つか さ けっか
否定的な言葉を使うことを避け、結果をほめ
るよりも、そのプロセスをしっかりとほめて励ま
してあげることが大切なんですね。

「勝負脳」で成功する！

だいがくきょうじゅ
ある大学教授によると、オリンピックなどの
せかいといかい ゆうしょう せんしゅ ちょうさ せいこう
世界大会で優勝した選手への調査から、成功
する人は「勝負脳」ができていることがわかつ
たそうです。その共通した特徴は、

- (1) 目標をしっかりと決めている。
- (2) 練習でも全力をつくし、素直である。
- (3) 途中で勝ったとは思わない。



▲組体操の練習をする高学年

(4) 否定的な考え方や発言は絶対しない。

(5) 人の悪口を言わない。人に親切。

ということがあげられるそうです。

にんげん のう ひろう
人間の脳はストレスがかかると疲労がなかなか
と かっせいか が取れないので活性化しなくなります。よいリ
ズムをつくり気持ちのよい状態を作り出すこ
と き も じょうたい つく だ
と たいせつ こころ
とが大切とのことです。そして、心をプラス
のイメージにすることで、よいことがどんどん
ひきよ く
引き寄せられて来るようになります。

うんどうかい こうがくねん くみたいそう れんしゅう
運動会にむけて、高学年が組体操の練習を
ひとりわざ ふたりわざ さんんわざ
しています。一人技、二人技、三人技・・・と
むずかしくなってきますが、最初から「もう
むり つか こえ
無理」「疲れた」と声にだすと、できることも
せいこう れんしゅう さいしょ
成功しません。練習では最初に「めあて」の
かくにん さいご
確認、最後にできることできなかったことの
はんせい ぜんいん かなら おこな
反省を全員で必ず行っています。組体操の
れんしゅう こえ だ じぶん まわ
練習では「声」を出して自分や周りの人と確認
えんぎ たいせつ
しながら演技することがとても大切なんです。

ていがくねん ちゅうあくねん ちゅうしん
低学年と中学年のダンスを中心とした演技
ようしょ こえ れんしゅう つ かさ
でも要所では声をだして練習を積み重ねてい
ます。そんな子ども達の一生懸命な姿を
うんどうかいとうじつ せんしん かん おも
運動会当日に全身で感じたいと思っています。